

あわくら
歴史街道鳥取県若桜町史の
岩屋堂を読んで

鳥取県若桜町は、古くから西粟倉の寺院と少なからぬ縁がありました。修験道で名高い東粟倉後山道仙寺の結界寺として、東は兵庫県宍粟市（旧宍粟郡千種町）千手院、西は本村長尾の天徳寺、南は美作市（旧大原町）讃甘の高福寺、北は鳥取県若桜町岩屋堂となっていました。

天徳寺の古書によれば、明治18年（旧）10月19日に若桜町岩屋堂より行者（役小角）並に咆妓尼天御木像の二体を買取っている領収証が残っています。この買取りに至った経緯については不詳ですが、移祀された仏像は現在も拝観することができます。更に、何時の頃か不明ですが、御本尊の不動明王も岩屋堂より移祀していると郷土史に記してあって、まさしく黒皮不動明王の尊体が安置してあります。

若桜町史によれば、岩屋堂は昭和28年国の重要文化財に指定されていて、大同元年（806）の建築でその後源頼朝が再興し、寺領150石を有する大伽藍であったが、天正（1573～1591）の頃豊臣秀吉が鳥取城攻略のため来攻の時兵火に罹って焼失したが、この堂丈が残ったと伝えられています。

さて、黒皮不動明王については確証はないものの弘法大師が彫刻されたもので、因幡の黒皮不動と云い、江戸の目黒、目赤の両不動と共に、その当時三不動の一つと云われたものだそうです。果たして由緒ある不動尊が、天徳寺に安置されている黒皮不動尊かどうか立証するものはないものの興味を持って若桜町史を読ませていただきました。

後一点は、前述の豊臣秀吉の軍勢が来攻し岩屋堂兵火の節、僧侶達は残らず退散し寺領は没収されて伝来の縁起書は住僧が持ち去って、作州吉野郡大茅村の権現社に納めたとの記述がありますが、本村の郷土史には見あたらず、大茅には権現と呼ぶ社はないので、今の入江神社のことかとも考えられ、往古より遠隔の地ながら宗教を通じての交流等、浅からぬ縁に感慨一入のものを覚えた次第です。

編集後記

村内の秋祭りや岡山県知事選挙も終わり、一応落ち着きました。取り沙汰されていた衆議院の解散総選挙も、当分はなさそうです。景気・政局の動向に限らず、何かと先行きの見えにくい9～10月でした。

11月に入り、空気が乾燥し急に冷え込んできましたので、風邪などには気をつけましょう。のどが痛いときは、寝るときだけでもマスクを着用すると良いですよ。



人の動き

平成20年10月1日現在

- 人口 1,633人(+1)
 - 男 762人(-1)
 - 女 871人(+2)
- 世帯数 537戸(-1)
- 9月中の移動
 - 出生 2人 死亡 0人
 - 転入 7人 転出 8人

幸せ多い人生を

小松 幸恵 さん（下土居）
中津 英次 さん（高松市）

善意の窓

（村社会福祉協議会から）

平成20年9月20日～20年10月19日

おめでとうございます

大 茅 萩原 具視 様 旭日単光章 受章内祝
塩 谷 新田 茂 様 長男 佳浩 様 結婚内祝

お大事にしてください

筏 津 建元 卓男 様 本人 退院内祝
大 茅 萩原 正明 様 本人 退院内祝
引 谷 石原 壽賀 様 本人 退院内祝
塩 谷 野田 篤 様 本人 退院内祝
下土居 河野 一子 様 本人 退院内祝
引 谷 平田 操 様 本人 退院内祝

福祉活動に

西粟倉村消費生活問題研究協議会 様

ふれあいまつりバザー収益金の一部

今月の村税

国民健康保険税（第6期）

納期限：12月1日（月）

◎納期限にご注意いただき、納付をお願いいたします。口座振替の場合は残高確認をお願いいたします。

☆農業収支計算の準備は進んでいますか？
帳簿への記帳や領収書は大切に保存しましょう。

お問い合わせ先：西粟倉村役場総務企画課
保健福祉課

たばこは村内で買いましょう